

平成16年 1月15日号
(2004年) No.884

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

info@city.ashiya.hyogo.jp



市庁舎北広場に、2,700株の花の苗を植えました
12月20日、市の呼びかけに応じてくださった37人のボランティアの皆さんと市長や市の職員がいっしょに、春の花の苗を植えました。



1.17

芦屋市祈りと誓い

問い合わせ 秘書課 ☎38-2000

阪神・淡路大震災から九年を経過するにあたり、犠牲者を追悼するため

「1・17芦屋市祈りと誓い」を執り行います。雨天決行

日時 一月十七日(土)午前七時三十分～午後五時

場所 阪神・淡路大震災「慰霊と復興のモニュメント」前(芦屋公園内)

内容 記帳・献花(献花用の花は用意します)

【注意】
駐輪場・駐車場は
ありません。
供花や供物などは、
固くご辞退いたし
ます。



慰霊と復興のモニュメント

1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2004
～復興の歩み確かめる～
開催日 1月17日(土) <雨天決行>

問い合わせ 1.17ひょうごメモリアルウォーク実行委員会
(兵庫県総括部生活復興課内) ☎078-360-8282

山手ふれあいロードウォーク

芦屋市では、右表のとおり、川西運動場から出発します。受け付けは、いずれの会場も出発の30分前からです。

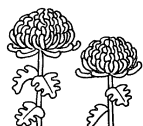
	コース名	スタート地点	出発時間
東ルート	15kmコース	西宮市役所	午前7時30分
	10kmコース	川西運動場	午前8時
	2kmコース	王子公園	午前11時
西ルート	10kmコース	県立文化体育館	午前8時
	5kmコース	市立中央体育館	午前9時30分

追悼のつどい

時間 午前11時50分～午後0時40分
会場 HAT神戸(神戸東部新都心)
内容 黙禱、式辞、1.17宣言、献花など

黙禱のお願い

犠牲者の冥福を祈るため、1月17日正午のサイレンに合わせ、自宅や職場での黙禱のご協力をお願いします。



競争入札参加のための
業者登録

問い合わせ 契約検査課 ☎38-2012

市および水道部が発注する建設工事、測量・建設コンサルタント等の請負および物品・印刷物の納入等の入札に参加するためには、あらかじめ登録が必要です。

登録の受付は2年に1回で、今回は平成16・17年度分の受付を行います。

内容 工事
測量・建設コンサルタント等
物件等(役務の提供・業務委託
などを含む)

申請 市独自の申請書を使用のこと
配付 契約検査課窓口・市ホームページ
要領の郵送はできません。
窓口配布は執務時間内。

受付 1月26日～2月6日(土・日を除く)、午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)までに、分庁舎2階大会議室へ、必ず持参のこと。

ホームページアドレス(入札・契約情報)

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/nyusatu/index.html

テレホン案内 ☎38-2061

市職員募集

職種・募集人数	保育職 ・ 若干名	幼稚園教員 ・ 若干名
受験資格	昭和53年4月2日以降出生の人で、保育士資格を有する人、または平成16年3月31日までに保育士資格を取得見込みの人	昭和54年4月2日以降出生の人で、幼稚園教諭普通免許を有する人、または平成16年3月31日までに幼稚園教諭普通免許を取得見込みの人
募集期間	1月15日(木)～26日(月)	郵便による受験の申し込みをされる場合は、募集期間中に必着のこと。
試験日・会場	2月8日(日)・市役所本庁舎南館4階	2月8日(日)・芦屋市立精道中学校
採用案内	市役所本庁舎南館2階 人事課	市役所本庁舎北館4階 教職員課
配付場所	市役所本庁舎 北・南館受付でも配付しています。「採用案内」はホームページからも印刷できます。郵便で「採用案内」を請求される場合は、職種ごとの申し込み先に、必ず140円切手を貼付した返信用封筒(角2号)を同封してください。	
採用予定	平成16年4月1日	平成16年4月1日
受験申し込み先	芦屋市役所総務部人事課	芦屋市教育委員会管理部教職員課
問い合わせ	人事課 ☎38-2019(〒659-8501 精道町7-6)	教職員課 ☎38-2003(〒659-8501 精道町7-6)

凡例... 日日時(日程)、開会場・場所、開内容、開対象・定員、開講師、開出演、開費用(記載の無い場合は無料)、開持ち物、開申し込み、開問い合わせ

ごあいさし

毎月第3水曜日は行政相談の日
1月21日(水)13時～16時 開お困りです課内 開行政に関する意見・要望等を行政相談員がお受けします 開お困りです課(☎38-5401)

手作り味噌体験
2月4日(水) 2月18日(水)、いずれも11時30分～15時 開(有)六甲味噌製造所(桶町11-16) 開とも先着20人 開4,000円(昼食代含む) 開かっぱう着、スリッパ 開1月15日(木)～、9時～17時(土・日を除く)に電話で右記へ 開芦屋観光協会事務局(☎38-2033 経済課内)

バザー用品提供のお願い
「芦屋市手をつなぐ育成会」がバザーを行います。日用雑貨、衣類(新品)、食料品(賞味期限内)等をご寄贈ください。
1月29日(木)10時30分～ 開ラポルテホール 開寄贈受付...24日(土)までに障害福祉課、社会福祉協議会(☎32-7530)へ持参、または「芦屋市手をつなぐ育成会」山村(☎38-4044)へ電話 開障害福祉課(☎38-2043)

文化財を火災から守ろう～1月26日は第50回文化財防火デー
文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したことを機に定められました。文化財は、太古から営まれてきた人々の生活や願いを後世に伝える大切な国民の財産です。これらを災害から守るため、地域ぐるみ、住民ぐるみの防災・防火に努めましょう。
開文化財課(☎31-9066)

「源氏物語」原典を読む講座
2月2日(日)10時～12時 開市民センター401室 開鈴木紀子氏 開2,100円(3回分) 開直接会場へ 開谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

公民館パソコン講座受講生募集
開ホームページ作成講座(グループのHP作成) パソコンを楽しむ講座(XP徹底活用) 開2月6日～、全6回、金曜日、9時30分～11時50分 2月6日～、全5回、金曜日、13時15分～15時15分 開市民センター217室 開3,000円+テキスト代 開XPノートパソコン Windowsのパソコンが自宅にある中級者、各コース16人 開往復はがきに講座名・住所・氏名・電話番号・年齢、性別、はグループ名を記入の上、1月24日(土)<消印有効>までに右記へ 開公民館(☎35-0700 〒659-0068 業平町8-24)

子育てセンター「節分の会」
1月31日(土)10時～11時30分 開体育館・青少年センター柔道場・剣道場 開就学前の乳幼児と保護者 開当日、直接会場へ 開お面づくり・豆まき・お話・ゲームなど 開お面の紙袋(子どもの頭がすっぽり入るもの)、はさみ、のり、ビニール袋(靴入れ用) 開子育てセンター(☎31-8006)

「地域福祉活動」市民学習会
1月25日(日)13時30分～16時 開市民センター401室 開講演「住民主体の共に生きるまちづくり」、各在宅介護支援センター「あしや聖徳園」「エルケアセンター芦屋」「ハーブあしや」の実践報告 開大阪府立大学社会学部専任講師・藤井博志氏 開150人 開開市立在宅介護支援センター(☎34-6711)

カルペディエムの会
1月23日(金)14時30分～16時 開国際交流協会 開ラジオを聞く 開コピー代 開20人(要予約) 開国際交流協会(☎34-6340)

海技大学校公開講座
自然科学のおもしろさ 海・船・地球 開船が世界に広めた嗜好品～コーヒーの化学 地球と宇宙の時計の話 船と時計の話 開2月21日 2月28日 3月6日、いずれも土曜日、13時30分～15時 開海技大学校 開海技大学教授・岩井道夫氏 開海技大学教授・藤谷達也氏 開海技大学助教授・堀晶彦氏 開80人 開教材費1,000円 開往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、性別、「公開講座受講希望」を記入の上、2月15日(日)までに右記へ 開海技大学校総務課「公開講座」係(☎38-6202 〒659-0026 西蔵町12-24)

平成16年度県立障害者高等技術専門学院生の募集
開身体に障害のあるかた各科10人(その他条件あり) 開情報システム科、パソコンNC科、宝飾工芸科、パソコンCAD科 開2月10日(火)までに西宮公共職業安定所(☎0798-75-6711)へ 開兵庫県立障害者高等技術専門学院(☎078-927-3230)

就職適齢期の子をもつ親たちのセミナー
1月20日(火)13時～16時30分 開新神戸オリエンタルホテル 開タレント・ジェフ・バーグランド氏ほか 開先着200人 開開兵庫東地域労使就職支援機構(☎078-391-3244)

納期 2月2日まで
介護保険料(普通徴収第7期分) 開高年福祉課介護保険担当(☎38-2046) 個人市民税・県民税(第4期分) / 開課税課市民税担当(☎38-2016) 法人市民税・事業所税(11月30日決算の法人等) / 開課税課管理担当 ☎38-2015

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」
車の使用はひかえめに

申請書をダウンロードできます
芦屋市に提出する税務関係の申請書等の一部が市のホームページ(http://www.city.ashiya.hyogo.jp/download/kazeika/index.html)からダウンロードできます。
電子メール等インターネットによる申請・届出等は受け付けていません。
問い合わせ 課税課管理担当 ☎38-2015

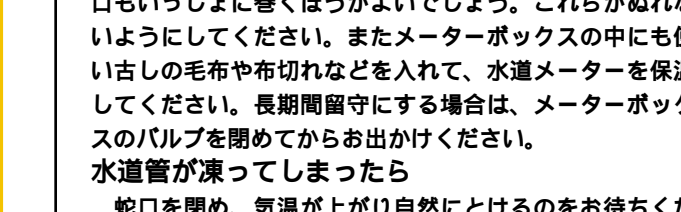
給与支払報告書の提出～事業主の皆さんへ
平成16年1月1日現在で在職されているかたの「給与支払報告書」を受給者の1月1日現在の住所地の市役所等へ、2月2日(月)までに提出してください。
問い合わせ 課税課市民税担当 ☎38-2016

償却資産の申告について
平成16年1月1日現在、市内に償却資産(機械、器具、備品などの事業用の資産)を所有されている場合、1月1日現在の資産の状況を申告していただくことになっています。所有者のかたは「償却資産申告書」を2月2日(月)までに提出してください。申告書の用紙をお持ちでないかたは、お問い合わせください。
問い合わせ 課税課固定資産税担当 ☎38-2017

水道管に寒波対策を!

寒さ厳しい時期となり、水道管を凍らせないようにするために「凍結等の防止対策」が必要になってきます。水道管が屋外でむき出しになっている箇所、北向きの場所において風が強くあたる箇所は特にご注意ください。気温が氷点下になると予想される夜は特に注意が必要です。

水道管を凍らせないために
むき出しの水道管には布切れや毛布などを巻き、その上からビニールなどを巻いてください。このとき蛇口もいっしょに巻くほうがよいでしょう。これらがぬれないようにしてください。またメーターボックスの中にも古い毛布や布切れを入れて、水道メーターを保温してください。長期間留守にする場合は、メーターボックスのバルブを閉めてからお出かけください。
水道管が凍ってしまったら
蛇口を開め、気温が上がり自然にとけるのを待ちください。お急ぎの場合は、タオルなどをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてとがしてください。直接熱湯をかけると、破裂するおそれがありますのでご注意ください。
水道管が破裂してしまったら
まずメーターボックスのバルブを閉めてください。バルブの場所がわからない時は、破裂した部分に布かビニールテープをしっかりと巻いてから、水道部工務課維持担当または、芦屋市指定給水装置工事業者者に連絡してください(修理代は各家庭のご負担となります)。



口もいっしょに巻くほうがよいでしょう。これらがぬれないようにしてください。またメーターボックスの中にも古い毛布や布切れを入れて、水道メーターを保温してください。長期間留守にする場合は、メーターボックスのバルブを閉めてからお出かけください。
水道管が凍ってしまったら
蛇口を開め、気温が上がり自然にとけるのを待ちください。お急ぎの場合は、タオルなどをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてとがしてください。直接熱湯をかけると、破裂するおそれがありますのでご注意ください。
水道管が破裂してしまったら
まずメーターボックスのバルブを閉めてください。バルブの場所がわからない時は、破裂した部分に布かビニールテープをしっかりと巻いてから、水道部工務課維持担当または、芦屋市指定給水装置工事業者者に連絡してください(修理代は各家庭のご負担となります)。

課税課からのお知らせ

市税の納付は
便利な口座振替をご利用ください
申し込み用紙に、必要事項を記入・押印の上、ポストに投函するだけで、手続きはとても簡単です。用紙は、市内の銀行・郵便局の窓口・市役所課税課にあります。
平成16年度から新たに市税の口座振替をご希望のかたは、下記の期日までに課税課へお申し込みください。期日以降にお申し込みのかたは、一括納付の振替は平成17年度から、各期納付の振替は平成16年度の第2期からの開始になります。

税目	申込期限(必着)
固定資産税・都市計画税	3月25日(木)
軽自動車税	4月26日(月)
個人市・県民税(普通徴収)	5月25日(火)

問い合わせ 課税課管理担当 ☎38-2015

芦屋税務署からのお知らせ

住宅借入金等特別控除説明会
日時 1月26日(月)、1月27日(火)、とも午前10時～正午と午後2時～4時の2回
会場 ラポルテ本館3階ホール
対象 住宅ローンを利用してマイホームを取得または増改築をされたかた

確定申告説明会
日時 1月28日(水)午後2時～4時
1月29日(木)午前10時～正午と午後2時～4時の2回
会場 うはらホール(東灘区民センター)
内容 譲渡所得関係を除く、一般的な確定申告の方法。
持ち物 確定申告書(税務署から送付済みのかたのみ)

株式譲渡申告会場の開設
日時 2月4日(水) 2月5日(木)、とも午前10時～、午後1時～、午後3時～の3回
会場 市民センター301室
市民センター401室
対象 株式を売却されたかた
内容 簡単な説明の後、相談を受け付けます

国税庁ホームページで確定申告書が作成できます
パソコン画面から金額等の必要事項を直接入力することにより、税額等を自動計算し、確定申告書が作成できる「所得税の確定申告書作成コーナー」を掲載しています。ホームページのアドレスは「http://www.nta.go.jp」です。

*いずれも説明のみで、申告書は受け付けていません。
*会場が混雑した場合、入場できない場合があります。
*ラポルテ会場は有料駐車場がありますが、他の会場へは公共等の交通機関等を利用の上、お越しください。

客観性、透明性の高い行政評価システムをめざして

行政評価委員会による外部評価を実施～
問い合わせ 行政改革推進室 ☎38-2005

外部評価の目的
行政による自己評価(内部評価)だけでなく、行政と民間の役割分担、費用対効果、市民の目線、民間企業経営の視点による第三者評価(外部評価)を実施することにより、客観性と透明性を高めることを目的としています。
行政評価委員会の設置
大学教授等四人で構成する「芦屋市行政評価委員会」を設置しました。委員は下表のとおりです。
行政が作成した事業評価シートをもとに所管課長から説明を聞くなど、計五回十六時間以上にわたって討議されました。

委員名	現職
石原俊彦	委員長 関西学院大学教授
福沢克祐	副委員長 四日市大学助教授
麻木邦子	委員 税理士
永田潤子	委員 大阪市立大学大学院助教授

石原俊彦委員長の総括コメント
芦屋市は、民間企業でいえば「倒産」にあたる財政再建団体転落の危機にあり、限られた財源を「あれもこれも」ではなく、「あれか、これか、いわゆる選択と集中によりまして、これを進めなければなりません。これは、単純な福祉切り捨てや民

行政評価委員会では、最少の経費で最大の効果が提供できているか、社会的に役割を終えた事業や民間でやるべき分野まで行政が抱え込んでいないかを見直し、事業の廃止や民営化まで踏みこんで評価を実施しました。これは、単純な福祉切り捨てや民

本市の行政評価システムについては、広報あしや(1月1日号)で、内部評価の結果をお知らせしましたが、評価の客観性、透明性を高めるため、行政評価委員会による外部評価を実施しましたので、その概要をお知らせします。
*行政評価に関する情報は、市ホームページ、市役所本館一階行政情報コーナー、ラポルテ市民サービスコーナー、図書館、公民館でもご覧いただけます。
外部評価の目的
行政による自己評価(内部評価)だけでなく、行政と民間の役割分担、費用対効果、市民の目線、民間企業経営の視点による第三者評価(外部評価)を実施することにより、客観性と透明性を高めることを目的としています。

評価結果概要
委員会評価(下表)では、「見直しのうえ継続」が外部団体への支援やごみ収集など九十三事業、「民間委託/民営化等」が十六事業と、市評価に比べ厳しい評価結果となりました。「拡大・充実」すべきは、職員研修、児童扶養手当の二事業、「現状維持」は道徳教育充実推進など十七事業です。地区集会所、養護老人ホーム、病院給食、市民センター、留守家庭児童会事業、海浜公園プール、体育館、図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館などは、「民間委託/民営化等」の検討が必要とされました。あしや温泉は「終期設定」ですが、民間企業の誘致も検討すべきとされ、市福祉金は「廃止」もやむをえないとの評価結果でした。これら評価結果を参考に、来年度以降の事業計画を見直ししていく予定です。

今後の方向性	市評価	委員会評価	主な事務事業
拡大・充実	11	2	職員研修、児童扶養手当
現状維持	37	17	住民基本台帳ネットワーク開発業務、市民農園事業、火葬場整備事業、湾岸道路に関する環境対策、生活保護法による扶助、救急医療事業、六麓荘地区都市基盤整備事業、中央地区土地区画整理(清算事務)、水道事業施設整備(南芦屋浜地区)、要保護および準要保護児童生徒就学援助、小学校施設整備、学校園施設整備業務、道徳教育充実推進事業、第61回国民体育大会カヌー競技等
見直しのうえ継続	63	93	情報公開および個人情報保護、文書管理事務、総合情報システム運用開発、国内交流事業、CATV広報チャンネル、芦屋市国際交流協会支援、商工団体育成、福祉医療、ごみ収集・運搬、パイプライン施設整備、福祉関係団体助成、健康診査事業、私立保育所運営費助成、シルバーハウジング・自立支援事業、敬老祝金、芦屋ハートフル福祉公社支援、特定優良賃貸住宅家賃対策補助、都市整備公社運営、都市公園維持管理、屋外広告物簡易除去、地区防災拠点整備、芦屋市奨学金、芦屋市文化振興財団補助等
民間委託/民営化	11	16	地区集会所、保育所、養護老人ホーム、病院給食、市民センター、発掘調査、留守家庭児童会事業、海浜公園プール、体育館、図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館等
統合/終期設定	2	1	あしや温泉
廃止/休止	5	1	市福祉金
事業終了	3	2	西部第1地区土地区画整理、山手中学校耐震整備
合計		132	

1/15(6:00～)～1/31(～24:00)	開始時刻
00 あしやNOW(*)フォーカス芦屋「That&確定申告」	6:00
20 リポート9ch【再放送】*平成11年1月放送	8:00
あしや自然百科「芦屋の山の艶やかな植物」	10:00
30 チャレンジリポート(*)公園の仕事にチャレンジ	12:00
40 広報とりきり(*)「冬景色」「ランドセルの色は何色?」ほか	14:00
00 芦屋市民企画番組(*)「希望の劇場～市民が作った芦屋市国際交流協会10周年記念事業～」	16:00
18:00	
20 西宮ライブラリー 町名の由来「能登町・丸橋町・大畑町」	20:00
30 ニッポンみたま(30分)「安全・安心な街を目指して!～地域の防犯活動～」	22:00

放送時間 6:00～24:00(上記の順に毎朝6時から2時間サイクルで9回繰り返し放送します)
(*印の番組はビデオの貸出可 広報チャンネル(9ch)に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
CATV全般に関する問い合わせ 機ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

9ch 広報番組ガイド

押尾コータロー LIVE in LUNA

日時 3月25日(木)午後7時開演(午後6時開場)
会場 ルナ・ホール
出演 押尾コータロー(アコースティック・ギター)
入場料 前売り 4,500円 当日 5,000円<全席指定>
前売り券売り切れの場合、当日券の発売はしません。
未就学のお子さんの入場はご遠慮ください。
チケット発売 1月24日(土)午前10時より発売開始(1人4枚まで)
モンテメール大書(店頭販売のみ)、文化振興財団事務所(1月24日午前中は、ルナ・ホールにて販売予定。残券があれば1月26日以降電話予約)、チケットぴあ、ローソンチケット
問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

人権啓発地域活性化事業

春を呼ぶシャンソン&講演の会

日時 2月13日(金)午後1時30分～3時30分
会場 市民センター・音楽室
定員 先着180人
申し込み 当日、直接会場へ

内容 第1部 「春を呼ぶシャンソン」
出演 湯井一葉氏
曲名 愛の賛歌、サントワ マミー ほか
第2部 講演会「尊い命」を捨てないで! -サラ金地獄から、法律で救済-」
講師 弁護士・植田勝博氏

植田勝博氏
問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055

「集会所トーク」参加者募集!

財政再建と行政改革をテーマに市長と話ししてみませんか。
申し込み 締め切り日の午後6時までに、住所、氏名、電話番号、希望会場を電話、ファクス、Eメールで行政改革推進室へ

夜の部 いずれも午後7時30分～9時

会場	開催日	締め切り日
朝日ヶ丘集会所	1月23日(金)	1月21日(水)
潮見集会所	1月27日(火)	1月23日(金)
翠ヶ丘集会所	1月29日(木)	1月27日(火)
浜風集会所	1月30日(金)	1月28日(水)
竹園集会所	2月2日(月)	1月30日(金)
打出集会所	2月3日(火)	1月30日(金)
大原集会所	2月5日(木)	2月3日(火)
前田集会所	2月9日(月)	2月6日(金)
春日集会所	2月10日(火)	2月6日(金)
西蔵集会所	2月12日(木)	2月10日(火)
茶屋集会所	2月13日(金)	2月10日(火)

問い合わせ 行政改革推進室 ☎38-2005 FAX31-4841 Eメール kikaku@city.ashiya.hyogo.jp



みんなで一緒に、おやつを食べる

アットホームな雰囲気の中で 多様な人間関係を築く 留守家庭児童会

市では、放課後、就労等で保護者が家庭を不在にする小学1年生から3年生を対象に、仲間づくりを通じて児童の健全育成を図ることを目的とした、留守家庭児童会を市内8公立小学校で実施しています。

教育の EDUCATION ページ

このページの問い合わせは
スポーツ・青少年課(☎22-0358)へ

平成16年度 新入会児童を募集

対象児童

新たに入学する新1年生および新2年生、新3年生で、保護者が就労等で昼間家庭に不在となる児童。

費用

育成料 月額 8,000円(土曜日の登級を希望する場合1,600円を加算)
おやつ・教材費 月額 2,000円
スポーツ保険代 年額 500円

申し込み

2月2日から13日の土、日、祝日を除く、午後12時15分から17時30分までに、入学する学校および在籍する学校の留守家庭児童会学級へ

学級名	設置場所	所在地	電話	定員
わんぱく	山手小学校	山手町8番3号	32-8315	45人
やまのこ	朝日ヶ丘小学校	朝日ヶ丘町10番10号	32-8271	30人
すぎのこ	岩園小学校	岩園町23番41号	32-7448	45人
ひまわり	精道小学校	精道町8番25	32-3165	45人
なかよし	宮川小学校	浜町1番9号	32-7127	45人
しおかぜ	潮見小学校	潮見町1番2号	38-3424	45人
らいおん	浜風小学校	浜風町1番1号	32-4113	45人
はまゆう	打出浜小学校	新浜町8番2号	32-5316	45人

2月14日(土)・15日(日)午前10時から午後4時まで、スポーツ・青少年課(体育館・青少年センター内)でも受け付けます。

必要書類

1 保護者がサラリーマン等の場合
入会申請書 保護者等の在職証明書 保護者の平成15年度市民税課税証明書など。

2 保護者が自営業等の場合
入会申請書 営業申立書 保護者の平成15年度市民税課税証明書など。

開設時間・休日

- 1 開設時間
ア 児童の放課後から午後5時(11月から2月は、午後4時30分)。
イ 土曜日、長期学校休業日等は午前9時から開設します。

- 2 休休日
ア 日曜日および国民の祝日に関する法律に規定する休日。
イ 8月12日～16日、12月29日～31日、1月2日・3日、3月31日。

入会許可・不許可通知

3月8日(月)に郵送で通知します。

その他

保護者の前年度の市民税所得割額の合計額が6万円以下の場合には育成料を減額または免除することができます。減額区分など詳細はお問い合わせください。



元気いっぱい、草むらさずべて遊ぶ

土曜日を新たに開設し、育成料を新設します

「留守家庭児童会事業」は、これまで市要綱で実施してきましたが、昨年12月の市議会で、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業として実施する「芦屋市留守家庭児童会条例」を制定いたしました。

この条例によって、これまで開設していなかった土曜日を新たに開設するとともに、事業の運営に必要な経費の一部を保護者にご負担をいただくこととなりました。

学級の1日の流れ

児童たちが「ただいま～」と学級に帰って来ると、指導員が「おかえり～」と迎えて学級での生活が始まります。

全員が学級に帰って来るまでは、宿題をしたり、本を読んだり、ゲームで遊んだりして過ごします。全員が集まるとドッジボールやキックベースなどのスポーツやお誕生日カード作りや行事で使う小道具を作ったりします。心地よく体を動かしたあとのおやつも楽しみです。時間になると指導員や友達に「さようなら」と言って自宅に帰ります。



お月見会でうさぎになって

季節の行事もいっぱい!

4月は新入生歓迎会、5月は子どもの日、7月は七夕祭りなど、四季折々の行事や毎月のお誕生会などを行っています。また夏休みに入ると朝から学級に登級し、プールや夏祭り・図書館や児童館へ出かけての映画鑑賞会などを楽しみます。

土曜日パート指導員募集

勤務日... 4月1日～平成17年3月31日の土曜日

ただし留守家庭児童会の休休日(祝日、8月12日～16日、12月29日～1月3日、3月31日)が土曜日に該当する場合、その日は除く

勤務時間... 午前8時45分～午後5時45分(休憩、休憩時間を含む)

勤務場所... 市立小学校敷地内留守家庭児童会学級

募集人数... 16人

応募資格... 児童の健全育成に対する熱意と必要な知識や経験を有しているか
業務内容... 留守家庭児童会入会児童(1～3年生)の安全の確保および遊びを通じた仲間づくりを中心とする余暇指導

賃金... 時給830円～940円(年齢による区分あり)

通勤手当相当別途支給(限度額あり)

受付期間... 2月16日(月)までの午前9時～午後5時15分(土、日、祝日を除く)

応募方法... 履歴書(上半身脱帽の写真貼付・署名捺印)を下記へ持参

スポーツ・青少年課 青少年育成係 ☎22-0358(川西町15-3)

歴史散歩 57

今も残る戦前の面影
業平町

明治七年(一八七四)五月、大阪神戸間に官営鉄道(国鉄)が開通しました。しかし、芦屋の市域(旧精道村)には、まだ駅舎がなく、開通から遅れること約四十年後の大正二年に、現在の芦屋駅の西側(小字芦原)に駅が開設されました。昭和三十二年には快速電車の停車駅となり、昭和四十五年(一九七四)に現業平町の一角に立っている石柱で、国鉄(現JR)の敷地を示すための境界石です。石柱には「工」というマークが刻まれています。「工」とは工部省の略といわれ、工部省とは、明治時代、政府のもとで官営事業を統括していた機関のことです。この石柱は、現在のJR線から道一本離れた所に立っています。その昔、この辺りには、貨物列車の引込み線や倉庫がありました。

花崗岩で造られた境界石は非常に少なく、市内では、この石柱のほか、翠ヶ丘町周辺に数本確認されているのみで、今では、ほとんどがコンクリート柱のものに代わっています。ただし、原材が石からコンクリートに代わっても、「工」のマークだけは、そのまま引き継がれていて、おもむきを感じます。

昭和八年(一九三三)十月、芦屋駅構内で貨物列車どうしの追突事故があり、先行列車の貨物列車数両が大破、後続の列車も破損脱線しました。この事故の模様を、この石柱は一部始終見ていたことでしょう。

問い合わせ 美術博物館 ☎5432



旧国鉄時代の境界石